

# ほほえみ

第56号 2023年1月発行



独立行政法人 国立病院機構  
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1  
TEL (0767) 53-1890 (代)  
FAX (0767) 53-5771  
ホームページ <https://nanao.hosp.go.jp>



「気嵐（冬）撮影地：中島町笠師」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

## 私達の信条

- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

## 目次

2023年 年始あいさつ	2
職場だより(地域医療連携室)	3
着任のご挨拶	4
病院で働く人たち	4
栄養管理室だより～その1～	4
栄養管理室だより～その2～	5



# 2023年 年始あいさつ

病院長 安井 正英

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が我が国で発生した直後より院長に就任し、早3年目が終わろうとしています。残念ながらコロナとの戦いは未だに継続しており、現在も第8波のまっただ中にあります。新型コロナウイルスは、変異を繰り返し、感染力が次第に増強してきており、毎日感染するリスクの中で生活して行かざるを得ません。そのため、たとえ感染していても、他の人には感染させないことを常に意識し行動いただくことを皆様をお願い申し上げます。

さて、昨年1年間をふりかえりつつ、本年の目標に関してふれさせていただきます。

まず、コロナ関連としては、ワクチン外来および集団接種、コロナ用ホテルやコロナ専門病院、施設への派遣などを引き続き行ってきました。また、発熱外来は午後の限定した時間帯以外でも、外来受付時間帯であれば対応しております。昨年当初よりコロナ患者さんの診療が、専門病院から地域医療へのシフトが求められ、当院入院中の患者さんがコロナ感染すれば、直ちに当院で診療するための準備を急ピッチで進めました。当院では厳重な感染管理を行っていた効果もあり、感染者を出さずに経過していましたが、5月に初めて入院患者さんにコロナが発生しました。2年間かけて準備してきたことが実を結び、幸い1名のみで最短期間で収束することができました。その後も職員のコロナ発生に伴い、濃厚接触者となった患者さんの対応を繰り返し行うことで、全病棟がコロナ対応ができる体制になり、大きな収穫があったと考えます。しかしながら、昨年末に同時に複数のコロナ患者さんが発生し、様々な対策をとりましたが、収束に一ヶ月を要しました。当院は常に95%以上の病床稼働率であるため、感染患者さんを隔離する方策がとれないことが最大の問題です。このことを教訓に、強力なエアクリナーの設置や感染対応室内での患者さんごとのPPE着脱など新たな方法を導入しましたが、今後も引き続きよりよい対策を模索してまいります。

次に、当院では常に40台以上の人工呼吸器が稼働していますが、昨年すべての人工呼吸器を新機種に変更しました。これに伴い、4月からはメディカルエンジニア（ME）を当院として初めて採用いたしました。人工呼吸器の適切な設定や管理、さらには様々な医療機器の不具合に対して、迅速に対応できるようになりました。さらに、経皮CO<sub>2</sub>モニターも2台設置し、今後呼吸ケアに関してソフト面でもレベルアップを計っていく所存です。



2024年1月には電子カルテの更新を予定しており、急ピッチで準備をすすめています。昨年より取り組んでいる会議等でのペーパーレスと同様に、診療業務においても可能な限り紙運用を減らしていくことも目指しています。本年2月にはCTの更新も予定しており、高額な医療機器の購入が続きます。本年度は、平均入院患者数がかつてないほど増加している一方で、コロナ感染対策や電気代などの光熱費の高騰による支出が大きな経営負担となっております。これらの支出は医業では価格転換ができず、いずれの医療機関も苦しい状況です。しかし、このような時代においても、当院のキャッチフレーズである「笑顔と誠実な医療を通じて世の中に貢献する」ことを常に念頭に、地域医療に貢献して参りますので、本年も七尾病院を宜しくお願い致します。



## 職場だより (地域医療連携室)

医療社会事業専門員 近藤 洋平

地域医療連携室は横地副院長を室長のもと、医事室の萱間専門職を係長とし、医療ソーシャルワーカー（以下MSW）3名で業務にあたっています。

MSWは、病気や障がいにより発生したご本人の不安や心配等について、面談や各支援者への連絡・調整を図りながら、一緒に生活上の課題を探り、課題解決の支援を行っています。

いわゆる、病気の診断ではなく、「生活診断」といったところでしょうか。ご本人の今までの暮らしや、家族状況、経済状況等の細かな生活状況を整理、把握していくことが病気の治療やよりよい暮らしを求めていく際には、重要となることも少なくありません。面談の際は、必要なこと以外は聞き取りませんし、言いたくないことは言わなくても大丈夫ですので、安心して相談をしていただけたらと思います。

なお、ゆっくり時間をとってお話を聴かせていただきたいので、面談希望がある場合は、事前に電話などで面談予約をしていただくと有難いです（※電話面談も対応可能です）。

また、MSWの業務は入退院支援、療養中の心理的・社会的・経済的課題の解決援助等、幅広く多岐にわたりますが、なかでも入退院支援はMSWの最たる業務になります。「初めての入院でどうしたらいいかわからない」「退院後の生活が不安」「入院費用が支払えるだろうか」など様々な声に耳を傾け入退院調整を図っていきます。少しでも、入院や治療に対しての不安が軽減できれば幸いです。

そして、日頃より各医療機関や、介護・福祉関連事業所、地域住民等関係者の方々には大変お世話になっております。地域連携業務ができるのも皆様の支えがあってこそと日々実感しております。

これからも患者さまのより良い生活のための支援ができるよう、努めていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



左から、萱間専門職、MSW 近藤、横地副院長、上田 MSW、坂本 MSW です。

## 着任のご挨拶

この度、副看護部長として着任いたしました栂田と申します。病院から見える七尾湾の風景に癒され、美味しい食べ物に感動しています。七尾病院に来て間もないころ、外来を歩いていると患者さんから声をかけられました。コロナ禍での生活のこと、ご家族のこと、たくさんの思いを聞かせていただきました。人の優しさにも触れ、温かい気持ちになりました。まだまだコロナ禍ではありますが、毎日、熱い思いで看護をしている職員と共に、患者さんの心に寄り添いながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



副看護部長  
栂田 優子

## 病院で働く人たち ~レパスト 編~

当院では給食業務を一部委託しております。  
委託給食会社レパストは、主に刻み食等の調理・盛り付け、配膳車・経管栄養の病棟配膳の業務を担当しています。朝は4時台から出勤し、患者様の食事を準備しています。  
7名の人生経験豊富なスタッフが、患者様からの細かな要望にも対応して下さり、とても頼りになる存在です。院内でお見かけしましたらお声かけください。



## 栄養管理室だより ~その1~



### ~ささみの治部煮~

七尾病院の冬の献立の中から、お腹にやさしい食材を使ったレシピを紹介します。

石川県の伝統料理である「治部煮」に、鶏のささみを使用し、優しい味付けで仕上げております。



#### 【材 料】

- |          |           |
|----------|-----------|
| ・ささみ 40g | ・だし汁 200g |
| ・片栗粉 5g  | ・醤油 3g    |
| ・菜の花 30g | ・砂糖 3g    |
| ・白糸麩 7g  | ・料理酒 3g   |
|          | ・みりん 3g   |



#### 【レシピ】

- ① 白糸麩は水で戻し、しぼる。
- ② 菜の花はゆでて食べやすい大きさにカットする。
- ③ ささみを一口大にカットし、片栗粉をまぶす。
- ④ ①、②をそれぞれだし汁で炊く。
- ⑤ 鍋に③と調味料を加え煮込み、とろみが出てきたら④と一緒に器に盛って完成。

# 栄養管理室だより ～その2～

## お正月食べ過ぎ、飲み過ぎしていませんか？



管理栄養士 八長 千尋

冬本番となり、毎日寒い日が続いていますね。  
年未年始、おいしいごちそうが続いて、そろそろお腹に疲れが出てきていませんか？  
今回は、疲れた胃腸にやさしい食事を紹介します。  
胃腸にやさしい食事でお腹から元気にして、寒さに負けない身体を作りましょう！

### ～ 胃腸にやさしい食事 ～



- 消化しやすい食べ物
- 調理方法の工夫
- 食物繊維や脂質の少ない食べ物
- よく噛んで食べ過ぎ予防

#### 消化しやすい食べ物

少ないエネルギーで食べ物を腸へ送り込めるため、胃の負担が減ります。  
例えば・・・うどん、とうふ、おかゆ



#### 食物繊維や脂質が少ない食べ物

食物繊維は整腸作用があり、身体に良いものですが、消化に時間がかかります。  
脂質も消化に時間がかかり、胃の負担となるため、食物繊維や脂質の少ない食品を選びましょう。

例えば・・・

- ◎大根、人参、かぼちゃ、りんご、バナナ、ささみ、鶏胸肉
- △ごぼう、れんこん、納豆、きのこ、こんにゃく、海藻類、ベーコン、ハム、チーズ



#### 調理方法の工夫

すりおろす、つぶす、細かく刻む調理によって食材の繊維を断つことで消化がスムーズに進みます。また、煮る、蒸すといったじっくり火を通す調理は食材を柔らかくできるため、消化を助け胃の負担軽減につながります。



#### よく噛んで食べ過ぎ予防

消化不良などの不調はよく噛むことでかなり改善されるといわれます。よく噛むと唾液が分泌されます。唾液には消化酵素が含まれており、胃での消化を助けます。咀嚼の刺激が、脳から胃へ伝えられることで、胃液の分泌が活性化され、消化吸収が高まります。さらに、よく噛むことで満腹中枢が刺激され、食べ過ぎを予防できます。



# 職員募集!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院  
(0767) 53-1890 (内線1105)

- 児童指導員(非常勤)
- 療養介助員(非常勤)

を募集しています

ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。

## 外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~15:00

診療時間 8:40~17:00

区分・時間	月	火	水	木	金	
呼吸器内科※1	午前	安井	(安井)	藤村	藤村	安井
	午後			藤村	藤村	
脳神経内科	午前	横地	横地	木元・橋井	森永	森永
内科	午前	横地	陳	橋井	森永	泉谷
	午後	横地	陳	橋井	森永	泉谷
消化器内科	午前	陳				
小児科	午前	泉※2	泉※2	押切	押切・泉	押切
	午後	押切	押切	泉	泉	
内科 (皮膚/形成)		鳥居※3 (13:00~17:00)	藤村啓 (10:30~15:00)	藤村啓 (10:00~11:30)		池田 (13:00~15:00)
ペインクリニック内科	午前	高澤	高澤・松島	高澤	高澤	高澤
	午後		松島(第2)	高澤		松島(第4)
循環器内科	午前				秋田	

※1 呼吸器内科の慢性咳嗽外来は予約診療となります。初診で診察ご希望の方は事前にお問い合わせをお願いします。

※2 小児神経・発達障害・てんかん外来の初診は予約制です。診察ご希望の方は事前にお問い合わせをお願いします。

※3 褥瘡診察で予約制です。診察ご希望の方は事前にお問い合わせをお願いします。

## 病院概要

■医療法病床 239床

■標榜診療科

内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科



## 案内図



JR七尾線「七尾駅」下車  
→北鉄バス【和倉温泉行】にて  
(3.7km./約15分)七尾病院前下車  
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで  
病院バスの送迎あり



## 編集後記

当院では、昨年後半より、本格的に会議などの配布資料のペーパーレス化が進められています。地域医療連携室でも、毎週の入退院カンファレンスにおいて、テレビモニターやスクリーン画面を使用して実施することで資源の節減に努めております。

寒中かつご多忙につき体調を崩しやすい時期です。空気も乾燥した日が続きますので、風邪には気をつけてお過ごしください。

医療社会事業専門員 坂本 千夏子